



令和3年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和3年2月5日

上場会社名 株式会社サイネックス
 コード番号 2376 URL <http://www.scinex.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 令和3年2月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(氏名) 村田吉優
 (氏名) 浅田政史 TEL 06-6766-3333
 配当支払開始予定日 ー

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年3月期第3四半期の連結業績（令和2年4月1日～令和2年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期第3四半期	9,232	△9.9	6	△97.6	18	△93.5	22	△87.2
2年3月期第3四半期	10,246	△0.6	272	4.5	291	3.4	178	ー

(注) 包括利益 3年3月期第3四半期 21百万円 (△88.8%) 2年3月期第3四半期 187百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年3月期第3四半期	4.18	ー
2年3月期第3四半期	30.98	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年3月期第3四半期	13,759	6,879	50.0
2年3月期	10,614	6,946	65.4

(参考) 自己資本 3年3月期第3四半期 6,879百万円 2年3月期 6,946百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年3月期	ー	0.00	ー	12.50	12.50
3年3月期	ー	0.00	ー		
3年3月期(予想)				10.00 ~12.50	10.00 ~12.50

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 令和3年3月期の配当(予想)については、レンジ形式で開示しております。

3. 令和3年3月期の連結業績予想（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000 ~13,000	△13.5 ~△6.3	200 ~350	△65.7 ~△39.9	220 ~370	△64.7 ~△40.6	100 ~200	△72.8 ~△45.7	18.32 ~36.64

(注) 1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 令和3年3月期の連結業績予想については、レンジ形式で開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	3年3月期3Q	6,470,660株	2年3月期	6,470,660株
② 期末自己株式数	3年3月期3Q	1,012,677株	2年3月期	1,012,677株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	3年3月期3Q	5,457,983株	2年3月期3Q	5,761,954株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において当社グループは、地域社会への貢献という経営理念に基づき、地方自治体や地域事業者のパートナーとして、広報やプロモーションを通じてサポートいたしました。また、官民協働による行政情報誌『わが街事典』の発行など、地方創生プラットフォーム構想により、地方創生支援事業に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、主に新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大の影響により、売上高は対前年同期比9.9%減の92億32百万円、営業利益は対前年同期比97.7%減の6百万円、経常利益は対前年同期比93.5%減の18百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は対前年同期比87.2%減の22百万円となりました。

なお、ICTサービスの内製化およびシステム開発事業への領域拡大を目的として、令和2年11月12日に株式会社ベックを連結子会社化いたしました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

①出版事業

出版事業におきまして、官民協働による行政情報誌『わが街事典』は、引き続き行政情報誌としての機能を高め、ユニバーサルデザイン（UD）に準拠するなど利便性の向上をはかり、広島県三原市や岩手県宮古市などで新たに発行するとともに、埼玉県草加市や広島県呉市などで更新版を発行し、117の区市町と共同発行した結果、当第3四半期連結会計期間末における累計の共同発行自治体数は973、更新版を含めた累計発行版数は1,903となりました。また、子育てガイドなどジャンル別行政情報誌の発行にも取り組みました。50音別電話帳『テレパル50』は、引き続き行政情報や特集企画を掲載した電話帳の発行を進めました。

さらに、災害時の避難所向け段ボール仮設ハウス『カカポ』の販売にも新たに取り組み、北海道千歳市、徳島県東みよし町に納品いたしました。

これらの結果、出版事業の外部顧客への売上高は、新型コロナウイルス感染拡大による影響もあり、対前年同期比10.0%減の46億73百万円、セグメント利益は対前年同期比31.1%減の5億68百万円となりました。

②ICTソリューション事業

ICTソリューション事業におきまして、自治体向けソリューションの領域では、「AIを活用した総合案内サービス」としてAIチャットボットの導入を進めており、愛知県の38自治体、福岡県の16自治体などで新たにサービスを開始いたしました。またCMS型ホームページ再構築サービスにつきましては、三重県多気町や埼玉県滑川町などと契約を締結し、累計の契約自治体数は63となりました。デジタルサイネージ『わが街NAVI』は埼玉県上尾市と協働でイオンモール上尾に設置するとともに、ふるさと納税支援事業につきましては、新たに埼玉県川越市と業務代行契約を締結いたしました。

民間企業向けサービスは、店舗や事務所をインターネット上のGoogleマップに表示するGoogleマイビジネスの販売に引き続き注力いたしました。

eコマース事業は、『わが街とくさんネット』や『食彩ネット』等の物販は地方生産者への販路提供と新しい生活様式で在宅が多くなった消費者の生活支援をマッチングし、好調に推移したものの、旅行商品は新型コロナウイルス感染拡大による影響を受け厳しい状況で推移いたしました。

ICTソリューション事業の外部顧客への売上高は、連結子会社化した株式会社ベックの収益を取り込んだものの、対前年同期比26.5%減の14億85百万円、セグメント損失は26百万円（前年同期は55百万円のセグメント利益）となりました。

③ロジスティクス事業

ロジスティクス事業におきまして、DM発送代行事業は、新型コロナウイルスの感染拡大や緊急事態宣言による顧客の営業自粛の影響を受けたものの、官公庁の案件や既存顧客の取引拡大につとめ、ポストイン事業も新規顧客の拡大に努めた結果、外部顧客への売上高は対前年同期比1.3%増の30億45百万円、セグメント利益は、原価率の高い商材を扱ったこともあり対前年同期比22.6%減の53百万円となりました。

④不動産事業

不動産事業におきまして、当社の不動産賃貸収入による外部顧客への売上高は対前年同期比0.2%減の29百万円、セグメント利益は対前年同期比1.7%減の17百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、137億59百万円となり、前連結会計年度末比31億44百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加額24億7百万円、建設仮勘定の増加額5億7百万円、流動資産のその他の増加額1億59百万円等によるものであります。

負債は、68億79百万円となり、前連結会計年度末比32億10百万円の増加となりました。その主な要因は、長期借入金(1年内返済予定のもの含む)の増加額36億50百万円等に対し、短期借入金の減少額3億円等によるものであります。

なお、純資産は68億79百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末比15.4ポイント下落の50.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年3月期の業績予想につきましては、令和2年5月15日に公表いたしました「令和2年3月期決算短信」に記載の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,529,660	4,936,863
受取手形及び売掛金	1,574,094	1,636,972
有価証券	—	30,090
商品及び製品	97,979	61,183
仕掛品	28,420	29,801
原材料及び貯蔵品	36,797	22,340
その他	265,408	424,912
貸倒引当金	△18,368	△24,380
流動資産合計	4,513,992	7,117,783
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	594,555	571,870
機械装置及び運搬具(純額)	145,483	122,195
土地	2,739,380	2,730,720
建設仮勘定	544,845	1,052,148
その他(純額)	27,771	31,067
有形固定資産合計	4,052,037	4,508,001
無形固定資産		
のれん	182,000	263,258
その他	35,519	35,102
無形固定資産合計	217,520	298,360
投資その他の資産		
投資有価証券	343,816	346,747
その他	1,492,790	1,493,486
貸倒引当金	△5,437	△5,019
投資その他の資産合計	1,831,168	1,835,215
固定資産合計	6,100,725	6,641,577
資産合計	10,614,718	13,759,360

(単位:千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	814,879	993,528
短期借入金	500,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	—	49,839
未払法人税等	146,750	31,070
前受金	360,384	178,364
賞与引当金	148,684	75,854
その他	407,221	448,240
流動負債合計	2,377,920	1,976,897
固定負債		
長期借入金	—	3,600,160
役員退職慰労引当金	99,042	103,025
退職給付に係る負債	1,166,147	1,175,100
その他	25,604	24,239
固定負債合計	1,290,794	4,902,526
負債合計	3,668,714	6,879,423
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	1,137,583	1,137,583
利益剰余金	5,662,874	5,598,488
自己株式	△606,836	△606,836
株主資本合計	6,943,622	6,879,236
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,729	△2,111
退職給付に係る調整累計額	8,110	2,811
その他の包括利益累計額合計	2,380	700
非支配株主持分	—	—
純資産合計	6,946,003	6,879,936
負債純資産合計	10,614,718	13,759,360

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年12月31日)
売上高	10,246,344	9,232,884
売上原価	5,706,214	5,099,522
売上総利益	4,540,129	4,133,361
販売費及び一般管理費	4,267,361	4,126,996
営業利益	272,768	6,364
営業外収益		
受取利息	1,320	483
受取配当金	16,297	5,948
受取家賃	4,134	3,730
複合金融商品評価益	—	1,317
補助金収入	—	19,011
その他	8,568	7,857
営業外収益合計	30,320	38,348
営業外費用		
支払利息	4,833	9,912
複合金融商品評価損	1,992	—
為替差損	4,207	15,683
その他	444	305
営業外費用合計	11,477	25,902
経常利益	291,610	18,811
特別利益		
固定資産売却益	12,653	8,681
投資有価証券売却益	—	15,902
関係会社株式売却益	—	27,431
特別利益合計	12,653	52,015
特別損失		
固定資産売却損	3,074	195
固定資産除却損	1,407	2,509
投資有価証券売却損	2,136	—
特別損失合計	6,618	2,705
税金等調整前四半期純利益	297,645	68,121
法人税、住民税及び事業税	88,189	39,834
法人税等調整額	30,972	5,476
法人税等合計	119,162	45,311
四半期純利益	178,483	22,809
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	178,483	22,809

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年12月31日)
四半期純利益	178,483	22,809
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,434	3,618
退職給付に係る調整額	△5,142	△5,299
その他の包括利益合計	9,292	△1,680
四半期包括利益	187,775	21,129
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	187,775	21,129
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成31年4月1日 至令和元年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	出版事業	I C Tソリ ューション 事業	ロジスティ クス事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,190,029	2,021,008	3,006,027	29,278	10,246,344	—	10,246,344
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,503	9,936	356,468	—	369,909	△369,909	—
計	5,193,533	2,030,944	3,362,496	29,278	10,616,253	△369,909	10,246,344
セグメント利益	824,839	55,729	69,721	17,324	967,614	△694,846	272,768

(注) 1. セグメント利益の調整額△694,846千円には、セグメント間取引消去7,405千円、のれんの償却額△13,162千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△689,089千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自令和2年4月1日 至令和2年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	出版事業	I C Tソリ ューション 事業	ロジスティ クス事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,673,049	1,485,560	3,045,044	29,229	9,232,884	—	9,232,884
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,261	6,537	358,534	—	367,332	△367,332	—
計	4,675,311	1,492,098	3,403,578	29,229	9,600,217	△367,332	9,232,884
セグメント利益又は 損失(△)	568,152	△26,018	53,972	17,031	613,136	△606,771	6,364

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△606,771千円には、セグメント間取引消去7,049千円、のれんの償却額△15,464千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△598,356千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「I C Tソリューション事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間より、令和2年11月12日付で株式を取得した株式会社ベックを連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては96,722千円であります。